ICT 通信
第6号

学びWEB中東

令和5年10月27日(金)
足立区立中川東小学校
校長　豊田　純子
ICT 担当　前田　康介

第2回 AIドリル月間実施

１１月１日（水）～１１月３０日（木）の期間、第２回 AI ドリル月間を実施します。
第１回 AI ドリル月間では、全学年で足立区の目標平均回答数を大きく上回ることができました。また、夏休み期間を経て、子供たちがすすんで AI ドリルを活用したり、低学年の子供たちも AI ドリルを活用することに慣れたりと、「子供たちのタブレット学習の習慣化」においても大きな成果を挙げられたのではないかと考えています。
第２回 AI ドリル月間では、「AI ドリルと子供たちの学力の関連」に着目していきたいと思います。
今年の７月にある記事を読みました。AI ドリルを運用している株式会社 COMPASS と慶應義塾大学 SFC 研究所が連携し、大阪府門真市における「Qubena の活用と学力への影響」についての効果検証を実施したという内容のものです。大阪府門真市の全市立小学校３・４生と全市立中学校１年生を対象（対象科目は、小学校：国語、算数　中学校：国語、数学、英語）に、２年間の効果検証の結果、Qubena の１週間あたりの利用頻度が高くなるほど、学力が高い傾向があることがわかったそうです。そこで、中川東小学校でも AI ドリルの活用は子供たちの学力向上に関連しているのかを効果検証してみることにしました。

≪対象学年≫　全学年
≪対象科目≫　算数（検証期間が１カ月のため）
≪効果検証の実施方法≫
□令和２年度区調査【算数】実施（１１月１週目に実施）
□AI ドリル月間実施　　（１１月）　　**正答率は、どれだけ変容するのか？**
□令和３年度区調査【算数】実施（１２月中に実施）

利用頻度と学力向上の関連を検証するため､第２回AI ドリル月間でも目標解答数を設定します。

	第１回目の目標解答数	第１回目の解答数結果（平均）	第２回目の目標解答数
１年生			２００問
２年生	３００問	７３４問	５００問
３年生	５００問	１１１９問	６００問
４年生	５００問	８４５問	７００問
５年生	６００問	１４９７問	８００問
６年生	６００問	９６２問	９００問

中川東小の効果検証の結果は、ICT 通信８号（１２月発行）でお知らせいたします。

一人でタブレットできるもん！

下の写真は、１年生の子供たちがタブレットを活用している様子です。
夏休み前、６年生が１年生にタブレットの使い方やログインの方法などをマンツーマンで教えていました。あれから約４カ月…今では人の手を借りることなく AI ドリルに取り組んだり、担任からのアンケート（Google フォーム）に答えたりと、できることが増えてきました。
先日１年生の教室に行くと、画像を編集したり、インターネットからフリー素材の画像を保存したりしている子の姿も見られました。「先生！これぼくが作ったんだよ！」とペイント作品を見せてくれる子もいました。
「書く」活動も大切にしながら、必要に応じて上手にタブレットを活用する力を今後も育み続けてほしいと感じました。

タブレット端末・充電器が故障したら・・・

日頃から、タブレット端末や充電器などを大切にご活用いただきありがとうございます。現在、本校ではタブレット端末と充電器の予備が残りわずかとなりました。そのため、万が一破損や故障があった場合についてお知らせします。

○タブレット端末に関しては、一度お預かりをして修理に出します。その間、代替え機が手元に届くまで最長一か月程度かかることがあります。

○充電器に関しては、Ｔｙｐｅ-Ｃ充電器をご家庭でご用意いただきますようお願いします。（１年生は中古品のため、Ｔｙｐｅ-Ｃ充電器がないご家庭は、優先的に交換いたします）なお、区においても在庫（交換の充電器）が足りていない状況です。そのため、来年度は在庫不足のため、充電器の配布を行うことができません。今年度中に各ご家庭でＴｙｐｅ-Ｃ充電器をご用意ください。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。